様式第４号

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	内山霊園管理事業				コード	82102
２ 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境課	作成者	吉沢　徹

３ 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち	
		政　策	循環型社会の構築	施　策	環境衛生対策の推進
	予算科目	霊園特会	業務委託	一部委託
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
	設置条例	岡谷市霊園条例		

●事業の内容（DO）

４ 施設の概要・設置目的

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

施設の概要（簡潔に）		総区画(聖地)数　２，８１２区画
目的	対象者	岡谷市に本籍又は住所を有する者
	意　図	聖地使用関係者及び一般来園者のため、安全で美観に配慮した維持管理を行う。

５ 施設の管理運営状況

指定管理者		28年度指定管理料	円
施設における通常業務	園内施設等の維持管理業務		
事業の実施内容	（28年度に施設で行った運営事業・自主事業など） ・園内管理業務、植栽整備、草刈業務等（シルバー人材センターへ委託） ・使用区画数２，７００区画 ・聖地使用者新規募集１０区画 ・使用料、管理料の徴収等 ・合葬式墓地整備工事〔建物（地下カロート）、付帯施設、外溝）		
前年度の課題への対応	・合葬式墓地整備工事の実施により施設が完成した。 ・合葬式墓地整備に伴い霊園条例を改正した。		

６ 施設の利用状況

＊①は貸館施設のみ対象(ただし年間開設日数は入力)　＊②・③はどちらかの欄に記入　＊

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	359	360	359	359
１日の開設時間（時間）	8	8	8	8
年間利用可能時間（時間）	2,872	2,880	2,872	2,872
年間利用実績（時間）	2,872	2,880	2,872	
② 年間利用者数（人）	2,567	2,562	2,561	2,621
有料利用者数	2,567	2,562	2,561	2,621
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ １日あたり利用者数、件数	7.2	7.1	7.1	7.3
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費		12,020,762	11,675,918	34,682,241	17,700,000
	経常経費	12,020,762	11,675,918	11,732,241	17,700,000
	臨時的経費	0	0	22,950,000	0
	＊臨時的経費の説明	合葬式墓地整備工事			

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000
	正規職員の人数（人）	0.58	0.58	0.58	0.58
③ 合計コスト（①＋②）		16,660,762	16,315,918	39,322,241	22,340,000
	前年度比		97.9%	241.0%	56.8%
	財源内訳　一般財源	3,978,293	2,887,988	4,279,265	6,418,000
	財源内訳　特定財源	12,682,469	13,427,930	35,042,976	15,922,000
	＊特定財源の説明	事業収入、諸収入　霊園整備事業債(28年度)			
④ 施設使用料年間収入額		12,632,330	13,411,710	12,140,470	15,886,000
⑤ 年間減免措置額		0	0	0	0
⑥ 受益者負担割合		105.1%	114.9%	35.0%	89.8%
⑦ 活動一単位あたりコスト		6,490	6,368	6,393	
	前年度比		98.1%	100.4%	
⑧ コストに関する補足説明					

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。　１日あたり利用者数、件数　前年度比　100.2%	1	
⑤ 施設使用料収入が増加した。　施設使用料年間収入額　前年度比　90.5%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること） ・合葬式墓地の新規使用者の募集。 ・聖地（区画）の新規使用者の増。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） ・合葬式墓地完成に伴い、新規募集案内の周知と新規使用者募集を実施する。 ・聖地（区画）再整備工事の区画数を増やす。
改善開始時期	平成２９年４月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B

13 大規模修繕の予定

予定事業費	円	予定時期	
内容			